

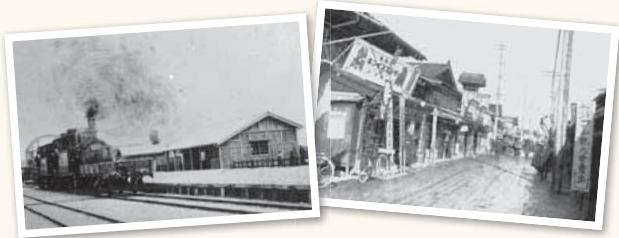
# 酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会 歴史に見る鶴岡のむかしむかし

■問合せ 本所政策企画課 ☎25・2111 内線525  
 ■監修 郷土資料館  
 ■出版 大正10年4月25日・26日付『山形新聞』

今から約100年前の大正時代——庄内・鶴岡では鉄道網の発達や電灯の普及、公共建築の洋風化など近代化が進み、人々の暮らしは大きく変わっていききました。

今回は、大正10年（1921）4月25日から27日までの3日間にわたって開催された「酒井忠勝公入国三百年記念祭」の様子を当時の写真や絵はがきとともに紹介します。

## 大正時代のまちの様子



鶴岡駅

商店街（五日町大通り）

### 臨時列車、装飾されたまち

庄内各方面から臨時列車が運行され、2年前に完成したばかりの鶴岡駅に降りた乗客は、荒町大通り（山王通り）を通過して鶴岡公園を目指します。

駅前等にアーチが建てられるなど、まちは飾り付けられ、行き交う人でにぎわいました。

### 黒川能、マツカセロ奉納

庄内神社では黒川能などが奉納され、十六合村（庄内町）青年団による剣舞は若者たちに大人気でした。

五日町（本町一丁目）の住民は「マツカセロ」を献じ、その後まちを練り回りました。この踊りには、江戸幕府が庄内藩ほか2藩に国替えを命じた三方領地替えが、領民たちの反対運動により撤回されたことを祝い作られたといういわれがあります。

### 記念式典、大名・仮装行列

庄内神社で神事、現在の山形地方裁判所鶴岡支部の位置にあ

## 三百年記念祭 絵はがきギャラリー



十六合村青年団剣舞



五日町マツカセロ踊

### 宝物展、活動写真など

大正天皇の即位を記念し建てられた大宝館で酒井家や酒田の本間家等所蔵品の宝物展覧会、七日町（本町二丁目）の観音堂

つた西田川郡会議事堂で記念式典が開催され、夜には県知事らを招待した祝宴が行われました。

大名行列が催され、狩川村（庄内町）からかご担ぎの雲助行列が参加。鶴岡名物として知られていた仮装行列も懸賞付きで行われ、酒田から芸妓の手踊りが参加しました。

境内で猿芝居や軽業興行、まちに2つあった常設の劇場では活動写真の上映がありました。

ほかにも国産飛行機の展示や著名な日本史研究者等の講演会など様々な催しが行われ、地域を挙げての盛大な記念事業だったことがうかがわれます。

本市では先人たちが築いた歴史や文化などを、次の100年につなぐことができるよう、この度の400年記念事業に取り組んでいきます。

## 編集・発行／鶴岡市総務部総務課

鶴岡市役所 本所 ☎997-8601 山形県鶴岡市馬場町9-25 ☎0235-25-2111 FAX0235-24-9071  
 (メールアドレス) tsuruoka@city.tsuruoka.lg.jp  
 (ホームページ) http://www.city.tsuruoka.lg.jp  
 (フェイスブックページ) https://www.facebook.com/tsuruokacity  
 (窓口受付時間) 月曜～金曜日(祝日・年末年始を除く) 午前8時30分～午後5時15分  
 市内藤島字笹花25 ☎64-2111  
 市内羽黒町荒川字前田元89 ☎62-2111  
 市内上山添字文栄100 ☎57-2111  
 市内下名川字落合1 ☎53-2111  
 市内温海戊577-1 ☎43-2111

藤島庁舎 ☎999-7696  
 羽黒庁舎 ☎997-0192  
 櫛引庁舎 ☎997-0346  
 朝日庁舎 ☎997-0492  
 温海庁舎 ☎999-7205



《人口と世帯》(令和2年7月31日現在)  
 住民基本台帳人口合計：124,484人  
 (男：59,545人、女：64,939人)  
 世帯数：49,119世帯